



The Third Year

2023年も、早くも12月を迎えました。読者のみなさんは、今年一年、新しいことなことに挑戦しましたか？

「SDGs for School」のメンバーもイベントへの出展や様々な活動とご一緒に携わる人への取材など、皆さんの挑戦と学びがあったと思います。今回は、「読者のみなさんに伝えたい」という想いを込めて発信してくれたメンバーが、これまでの活動から得た気づき、成長したと感じられる変化について書いてもらいました。



○ぶりん 高校2年生

私は4月からこの活動に参加して、執筆やミーティング、公開オンライン取材など経験する事ができました。このような経験から、私自身が成長できたと思うところは、書き付けです。

今までも、書き付けは行っていましたが、後からもう一回見返してみると、不要な情報を書きすぎて何を伝えたくて書いているのか分からない文や、お話を聞いたことを自分の言葉にせずに書いてしまったり、作文を書く時に覚えているという、出来事もありました。それらの反省点を踏まえ



○るーな 高校1年生

今年度のこれまでの「エラスキル」の活動を通して、社会問題

です。このことから私も、未来のためと焦りすぎず、自分が好きなことを行ったり、周りの困っている人を助けたりすることで、自然とより良い未来に向かっていきたいと思います。



○Kako 高校2年生

私がこの活動を始めて成長したことは、「伝えたい思いを自分なりの表現で伝えることができるようになった」とことです。

加入したばかりの頃は自分が感じたことなどを、文字を通して伝えていけば良いのか分からず、過去の記事を真似したりメンバーの

て、私は書き付けをする時には、自身の心情、お話を聞いた後の心情の変化、お話のポイントなど、特にこの3つを意識して書き付けするようにしました。

すると、見返してもその状況を思い出せるような書き付けができるようになりました。他の人から見たら当たり前を感じるかもしれませんが、ですが、これからも自分なりに成長し続けていけるような、そんな活動にしていきたいです。

原稿を読んで執筆していました。そんな中、アスキーや様々な取材を通して「自分しか出せない言葉や表現で感じたことや伝えたい思いを文字にしていきたい」と思うようになりました。その理由は取材させていただいた方々が独自の表現や考え方を持っており、活動に活かしていたからです。

この影響を受け、現在は徐々に自分なりの言葉で、自分が感じたことと読者のみなさんに知ってほしいと、伝えたい思いを執筆という形で表現できるようになりました。より伝わりやすい自分なりの表現はまだまだ模索中ですが、これからも読者のみなさんの心に留まるような表現で執筆を続けていきます。よろしくお願ひします！



○みのり 高校2年生

1年間私たちの記事を読んでくださり、ありがとうございました！楽しんでいただけましたか？私は1年間の執筆活動を通して「SDGs」に関する様々な活動の本質「考える力を身につけたい」とができました。例えば、夏企画の「チロル堂」への取材では、貧困や子ども食堂という活動の枠を超えて活動している方がいるから食べ物やあげばいい人というだけでなくはなれことを学びました。こういった経験を通して、今は何を考えるために、どのような活動

をこらして、その活動がどのように広げられているかを常に意識しながら活動していることを伝えることができました。

来年もみなさんに、ワクワクと内容の深さを提供できる記事を書けるように頑張ります。楽しみにしてくださいませー

LINE

中高生時代の挑戦は「生もの」？ 2013年当時、全国378校の高校2年生（約4,500名）を対象に、高校時代の活動がその後、大学時代や社会に出た際に、どのような影響を及ぼすかを調査する目的で、10年間の追跡調査が実施され、その成果が今年、発表されました。学校と社会をつなぐ調査「通称：10年トランジション調査

https://www.kawaiiku.jp/research/sch/460

調査結果の中には、「リーダーシップ力」「計画実行力」「リサーチ力」「社会文化探究心」という資質・能力を向上させながら、主体的に成長させていける若者には高校時代（中学生時代）からこのように、ストレスのかかる活動への挑戦や、中高生時代の「探究的な活動」を積極的に進めていたことが関連するとの報告がありました。この「エラスキル」の活動も探究活動の一つと捉えられます。読者のみなさんはいかがですか。もし、挑戦に困っていたら「エラスキル」のイベントに参加してみませんか？

